

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
金融と証券 I money and securities market I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学 I・II、ビジネス実務総論 I・II、経済学、ファイナンシャルプランナー I・II、税法 I・II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学 I、ビジネス実務総論 I、経済学、ファイナンシャルプランナー I、税法 I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
経済社会における金融の役割を取り上げて、その重要性を考察した後に金融市場における直接金融と間接金融を取り上げる。さらに、金融市場を狭義の金融市場と証券市場に分けて、それぞれの機能的特徴や経済社会における役割を考察する。最後に、金融機関を取り上げて、それぞれの役割を考える。現代経済社会における金融や金融機関の役割や重要性の理解を目指す。				
授業の目標				
①経済社会における金融の重要性を知り、それが自分の生活とどの様な関わりを持つのかを考え説明できるようにする。 ②現代の経済問題を金融や証券の立場から考えて説明できるようにする。 ③金融機関に関する新聞やTVなどのニュースの初歩的な解説ができるようにする。				
授業の方法				
基本的には講義形式で理論を学習するが、受講者との対話形式によって金融に関する時事問題などを取り上げる。				
学習の成果（学習成果）				
現代社会における金融や証券の役割と重要性を理解して説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	社会における経済活動(生存と経済、幸福追求と経済、経済活動の仕組み)			
第3回目	経済活動における金融の役割(金融とは何か、実物経済と金融経済、金融市場の必要性)			
第4回目	直接金融と間接金融(資金の流れと金融商品、直接金融方式とは、間接金融方式とは、わが国金融方式の特徴)			
第5回目	金融市場の種類(金融市場とは、金融市場の分類、長期金融市場と短期金融市場)			
第6回目	長期金融市場(証券市場、発行市場と流通市場、わが国の証券市場)			

第7回目	短期金融市場①(インターバンク市場とは、コール市場、手形売買市場)		
第8回目	短期金融市場②(オープン市場とは、CD市場、債券現先市場、その他)		
第9回目	金融機関(金融機関とは、金融機関の役割、金融機関の機能)		
第10回目	金融機関の業務①(金融業の業際問題、銀行業務) 小テスト		
第11回目	金融機関の業務②(証券会社の業務、保険会社の業務)		
第12回目	金融機関の分類①(中央銀行とは、中央銀行の三大機能、中央銀行の三大政策)		
第13回目	金融機関の分類②(政策金融とは、政策金融機関)		
第14回目	金融と証券 I に関する理解度を確認するため、講義全般の範囲を対象とした試験		
第15回目	まとめと講義の振り返り(講義の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻・無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト	10%	最高水準(S)としては、基本的専門用語を90%正解すること。
	試験	60%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的一貫性をもって論述すること。
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
欠席や遅刻、私語は慎むこと。無断欠席:5点減点。遅刻2回:5点減点。飲食物の持ち込み禁止。携帯はマナーモードにすること。			